

注3

大学番号：私145

[平成29年度設置]

計画の区分：学部設置

注1

認可

北陸大学 医療保健学部 医療技術学科

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人北陸大学
平成29年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総合企画局

職名・氏名 企画課長 フクムラ 福村 ヤスタカ 靖貴

電話番号 076-229-1161

（夜間） 076-229-1161

F A X 076-229-1348

e-mail s-kikaku@hokuriku-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学新設の場合：「〇〇大学」

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

医療保健学部

<医療技術学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	9
4. 既設大学等の状況	10
5. 教員組織の状況	12
6. 留意事項等に対する履行状況等	20
7. その他全般的事項	21

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人北陸大学

(2) 大学名

北陸大学

(3) 大学の位置

〒920-1180

石川県金沢市太陽が丘1-1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(オグラ ツトム) 小倉 勤 (平成25年1月)		
学 長	(オグラ ツトム) 小倉 勤 (平成24年1月)		
学 部 長	(シバタ ヒロシ) 柴田 宏 (平成29年4月)		
学科長等	該当なし		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成26年度開設の4年制の学科の場合(平成29年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
医療保健学部 医療技術学科 学士(医療技術学)	保健衛生学関係(看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。)	4年	60人	—年次人	240人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	60 (—) [—]	— (—) [—]	1.06倍							
志願者数	402 (—) [—]	— (—) [—]								
受験者数	400 (—) [—]	— (—) [—]								
合格者数	162 (—) [—]	— (—) [—]								
B 入学者数	64 (—) [—]	— (—) [—]								
入学定員超過率 B/A	1.06		—		—		—			

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	64 [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
2年次	/		- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
3年次			/		/		- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)
4年次	/						/		- [-] (-)
計			64 [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)			- [-] (-)

- (注)
- ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成29年度 入学者	64 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人	-	0.00 %
			平成30年度	- 人	- 人	-	
			平成31年度	- 人	- 人	-	
			平成32年度	- 人	- 人	-	
平成30年度 入学者	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	-	- %
			平成31年度	- 人	- 人	-	
			平成32年度	- 人	- 人	-	
平成31年度 入学者	- 人	- 人	平成31年度	- 人	- 人	-	- %
			平成32年度	- 人	- 人	-	
平成32年度 入学者	- 人	- 人	平成32年度	- 人	- 人	-	- %
合 計	64 人	0 人					0.00 %

(注)・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<医療保健学部 医療技術学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
一般 教 養 科 目	自然科学概論	1前	2								兼3	オムニバス		
	生命・医療倫理学	1後	2								兼1			
	心理学	1・2前・後		2									兼1	
	哲学	1・2前・後		2									兼1	
	社会保障と福祉	未開講 1・2前・後		2									兼1	平成30年度開講予定 (29)
	北陸の文化と社会	未開講 1・2前・後		2									兼1	平成30年度開講予定 (29)
	日本史	未開講 1・2前・後		2									兼1	平成30年度開講予定 (29)
	社会学	1・2前・後		2									兼1	
	法学（日本国憲法含む）	未開講 1・2前・後		2									兼1	平成30年度開講予定 (29)
	スポーツ	1・2前・後		1									兼1 兼2	西川周吾兼担講師の就任時期の変更により教員数を変更。履修希望者が少数のため1人の担当教員で支障はない。(29)
	英会話	1・2前・後		1									兼1	
	生物学	1前		1		1								
	化学	1前		1			+						兼1	加藤隆幸准教授の就任辞退により、教員を変更 (29)
	物理学	1前		1					1					
	数学	1前		1									兼1	
	英語 I	1前		2									兼2	
	英語 II	1後		2									兼2	
	科学英語の基礎	2前		1									兼2	
	医学英語	4後		1			1	+						加藤隆幸准教授の就任辞退により、教員を変更 (29)
	基礎ゼミナール I	1前		1			7	4 5		2				加藤隆幸准教授の就任辞退により、教員数を変更 (29)
基礎ゼミナール II	1後		1			7	4 5		2			加藤隆幸准教授の就任辞退により、教員数を変更 (29)		
海外研修	1・2前・後		1								兼1			
専 門 基 礎 科 目	医学概論	1前	1								兼1			
	看護学概論	1後	1								兼1			
	公衆衛生学	4後	1								兼1			
	関係法規	4後	1								兼1			
	人体の構造と機能 I	1前	4			1								
	人体の構造と機能 II	1後	1			1	+					オムニバス 加藤隆幸准教授の就任辞退により、科目内容を変更 (29)		
												担当 岩崎信一（教授） 平成29年1月 教員審査済 判定 可		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	細胞生物学	2前・後		2		1	1					加藤隆幸准教授の就任辞退により、教員を変更(29)
	分析技術学	3前・後		2		3						兼1 オムニバス
	画像解析学	4後		2								
	生体機能代行装置学	2後	2				1					
	生体機能代行装置学実習	2後	1				1			1		
	医用機器安全管理学	3前	2				1					
	医用治療機器学	2後	2				1					
	医用治療機器・安全管理学実習	3後	1				1			1		
	臨床医学総論	4後	2									兼1
	臨床検査学演習	4後	2			4	2					オムニバス
	臨床工学演習	4後	2			2	2	2				オムニバス
	地域チーム医療論	4後	1			1						
	専門職連携演習	4後	1			1						
	卒業研究Ⅰ	4前	1			7	4 5	1				加藤隆幸准教授の就任辞退により、教員数を変更(29)
	卒業研究Ⅱ	4後	2			7	4 5	1				加藤隆幸准教授の就任辞退により、教員数を変更(29)
	臨地実習	4前	4			5	2	1	1	1		
臨床実習	4前	4			1	2				1		

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
76	17	0	93	76	17	0	93	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	社会保障と福祉	2	1・2前・後	一般	選択	平成30年度開講予定
2	北陸の文化と社会	2	1・2前・後	一般	選択	平成30年度開講予定
3	日本史	2	1・2前・後	一般	選択	平成30年度開講予定
4	法学（日本国憲法含む）	2	1・2前・後	一般	選択	平成30年度開講予定

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにもかかわらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

当初の計画時から、配当年次を「1・2前・後」としており、平成29年度は一般教養科目と専門基礎科目及び専門科目のバランスを鑑みて教育課程を編成したことにより未開講とした。未開講科目については平成30年度に開講するため支障はないと考えている。

学生への周知方法
 履修ガイダンス時に時間割、履修の手引きを配付し、平成29年度開講科目について説明した。履修登録の際に再度開講科目等について説明した。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{4}{93} = \boxed{4.3\%}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
	校舎敷地	89,137.35 m ²	— m ²	— m ²	89,137.35 m ²				
	運動場用地	46,138.99 m ²	— m ²	— m ²	46,138.99 m ²				
	小 計	135,276.34 m ²	— m ²	— m ²	135,276.34 m ²				
	そ の 他	337,786.99 m ²	— m ²	— m ²	337,786.99 m ²				
	合 計	473,063.33 m ²	— m ²	— m ²	473,063.33 m ²				
(2) 校舎	専 用	58,305.62 m ² 58,402.58 m² (58,305.62 m ²) (58,402.58 m²)	共 用	共用する他の学校等の専用	計	太陽が丘3号棟の登記面積(実測)(29)			
		(— m ²)	(— m ²)	(— m ²)	(58,305.62 m ²) (58,402.58 m²)				
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	40 室	62 室	129 室	5 室 (補助職員 2人)	1 室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	医療保健学部 医療技術学科			13 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料	機械・器具	標 本	大学全体での共用分 240,522冊 図書 232,659冊 〔97,869冊〕 〔 89,638冊 〕 1,262種 学術雑誌 1,259種 〔673種〕 〔 674種 〕 電子ジャーナル4,575種 〔4,575種〕 2,932点 視聴覚資料 2,809点	
		冊	種	種	点	点	点		
	医療保健学部 医療技術学科	1,642 [29] (1,092 [13])	12 [1] (11 [0])	— [—] (— [—])	15 (15)	639 (208)	19 (—)		
	計	1,642 [29] (1,092 [13])	12 [1] (11 [0])	— [—] (— [—])	15 (15)	639 (208)	19 (—)		
(6) 図書館	面 積		閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
	3,689.34 m ²		635		162,000				
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体		
	6,456.86 m ²		テニスコート5面(人工芝) サッカー場2面(人工芝)						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	共同研究費等は大学全体。 図書購入費には電子ジャーナル・データベースの整備費(運用コストを含む)を含む。 共同研究費等：共同研究費の予算額に変更があったため。(29)
		教員1人当り研究費等	400千円	400千円	図書購入費	6,090千円	3,680千円	1,330千円	
		共同研究費等	8,000千円 15,000千円	15,000千円	設備購入費	168,370千円	43,800千円	1,000千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,700千円	1,500千円	1,500千円	1,500千円	— 千円	— 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入等							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	北 陸 大 学									備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入 学定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地		平成29年より学生 募集停止 平成29年より学部 学科名称変更 未来創造学部→経 済経営学部 国際マネジメント学科→ マネジメント学科
《AC対象学部等》 薬学部 薬学科	年	人	年次 人	人	学士 (薬学)	倍		石川県金沢市金川町ホ3番地		
未来創造学部 国際教養学科	6	220	-	1,750		0.62	平成18年度	石川県金沢市金川町ホ3番地		
国際教養学科	4	-	-	-	学士 (文学)	-	平成20年度	石川県金沢市太陽が丘1丁目1番地		
経済経営学部 マネジメント学科	4	200	3年次 123	740	学士 (マネジメント学)	1.16	平成20年度	同上		
国際コミュニケーション学部 国際コミュニケーション学科	4	80	3年次 20	360	学士 (文学)	1.00	平成29年度	同上		
医療保健学部 医療技術学科	4	60	-	240	学士 (医療技術学)	1.06	平成29年度	同上		
大学の名称	〇 〇 短 期 大 学									備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入 学定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地		該当なし
	年	人	年次 人	人		倍				

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。

- ・ A C対象学部等についても必ず記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<医療保健学部 医療技術学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	柴田 宏	平成29年4月	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 臨床免疫学Ⅰ 臨床免疫学Ⅱ 臨床免疫学実習Ⅰ 臨床免疫学実習Ⅱ 分析技術学※ 臨床検査学演習※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨地実習						
専	教授	岩崎 信一	平成29年9月	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 人体の構造と機能Ⅰ 人体の構造と機能Ⅱ※ 解剖学実習 生理学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専	教授	岩崎 信一	平成29年4月	人体の構造と機能Ⅱ	本人の都合により、専任教員の就任年月が平成29年4月に変更(29) 平成28年10月 加藤隆幸准教授就任辞退のため平成29年度より科目内容の変更平成29年1月 A C教員審査済 (29)
兼任	講師	岩崎 信一	平成29年4月	人体の構造と機能Ⅰ						
専	教授	尾崎 聡	平成30年4月	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 病理学Ⅱ 病理学実習 臨床検査総論Ⅱ※ 臨床検査総論実習Ⅱ 分析技術学※ 臨床工学演習※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨地実習			後任未定			平成28年12月 尾崎聡教授就任辞退 (29) 「後任未定」平成30年4月から専任教員採用予定で後任の準備を行っている。
専	教授	小宮山 豊	平成30年4月	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 臨床血液学Ⅰ 臨床血液学Ⅱ 臨床血液学実習Ⅰ 臨床血液学実習Ⅱ 臨床検査学演習※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨地実習						
					兼任	講師	小宮山 豊	平成29年4月	臨床検査総論実習Ⅰ	教育効果に配慮し担当教員を追加 (29)
専	教授	嶋津 秀昭	平成30年4月	生体物性・材料工学 計測・機械工学 医用機器学概論 臨床工学演習※ 臨床実習						
兼任	講師	嶋津 秀昭	平成29年10月	医用機器学概論						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	寺澤 文子	平成29年4月	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 臨床生化学Ⅰ 臨床生化学Ⅱ 臨床生化学実習Ⅰ 臨床生化学実習Ⅱ 分析技術学※ 臨床検査学演習※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨地実習						
専	教授	中山 耕造	平成29年4月	生物学 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 生化学 生化学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ						
専	教授	油野 友二	平成29年4月	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 医用検査機器学 臨床検査総論Ⅰ 臨床検査総論Ⅱ※ 臨床検査総論実習Ⅰ 臨床検査学演習※ 地域チーム医療論 専門職連携演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨地実習						
専	准教授	生駒 俊和	平成29年4月	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 生理機能計測学実習Ⅰ 生理機能計測学実習Ⅱ 生体計測装置学 臨床工学演習※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨床実習						
専	准教授	加藤 隆幸	平成29年4月	化学 医学英語 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 人体の構造と機能Ⅱ※ 生理学実習 細胞生物学 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	兼任 講師	佐藤 庸介	平成29年4月	化学	平成28年10月 加藤隆幸准教授就任辞退のため 平成29年度より担当者の変更 (29)	
					専 教授	柴田 宏	平成32年10月	医学英語	平成28年10月 加藤隆幸准教授就任辞退のため 平成29年度より担当者の変更 平成29年1月 A C教員審査済 (29)	
									「基礎ゼミナールⅠ」及び「基礎ゼミナールⅡ」は他に複数の担当者がいるため支障はない (29)	
					専 教授	岩崎 信一	平成29年10月	人体の構造と機能Ⅱ	平成28年10月 加藤隆幸准教授就任辞退のため 平成29年度より科目内容の変更 平成29年1月 A C教員審査済 (29)	
					専 准教授	生駒 俊和	平成29年10月	生理学実習	平成28年10月 加藤隆幸准教授就任辞退のため 平成29年度より担当者の変更 平成29年1月 A C教員審査済 (29)	
					専 教授	中山 耕造	平成30年10月	細胞生物学	平成28年10月 加藤隆幸准教授就任辞退のため 平成29年度より担当者の変更 平成29年1月 A C教員審査済 (29)	
									「卒業研究Ⅰ」及び「卒業研究Ⅱ」は他に複数の担当者がいるため支障はない (29)	

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	准教授	小宮 智義	平成29年4月	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 医動物学(実習含む) 臨床微生物学 臨床微生物学実習 臨床検査学演習※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨地実習						
専	准教授	高橋 純子	平成29年4月	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 生体機能代行装置学 生体機能代行装置学実習 医用機器安全管理学 医用治療機器学 医用治療機器・安全管理学実習 臨床工学演習※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨床実習						
専	准教授	濱田 敏彦	平成30年4月	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 病理学実習 生理機能計測学Ⅰ 生理機能計測学Ⅱ 生理機能計測学実習Ⅰ 生理機能計測学実習Ⅱ 生体計測装置学 臨床検査学演習※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨地実習						
専	講師	長原 三輝雄	平成29年4月	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 情報科学概論 情報処理工学Ⅰ 情報処理工学Ⅱ 臨床工学演習※ 臨地実習						
専	講師	服部 託夢	平成29年4月	物理学 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 医用工学概論 医用工学概論実習 応用数学 電気工学 電子工学 臨床工学演習※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ						
専	助教	滝野 豊	平成29年4月	臨床検査総論実習Ⅰ 臨床検査総論実習Ⅱ 臨床血液学実習Ⅰ 臨床血液学実習Ⅱ 臨床生化学実習Ⅰ 臨床生化学実習Ⅱ 臨地実習						
兼任	教授	東風 安生	平成29年4月	生命・医療倫理学 哲学						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼担	教授	松本 和彦	平成29年4月	社会保障と福祉	兼担	教授	松本 和彦	平成30年4月	社会保障と福祉	平成30年度開講予定のため、就任予定年月を変更(29)
兼担	教授	山本 啓一	平成29年4月	法学(日本国憲法含む)	兼担	教授	山本 啓一	平成30年4月	法学(日本国憲法含む)	平成30年度開講予定のため、就任予定年月を変更(29)
兼担	教授	笠原 祥士郎	平成29年4月	海外研修						
兼担	准教授	福江 充	平成29年4月	北陸の文化と社会 日本史	兼担	准教授	福江 充	平成30年4月	北陸の文化と社会 日本史	平成30年度開講予定のため、就任予定年月を変更(29)
兼担	准教授	轟 里香	平成29年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 科学英語の基礎						
兼担	准教授	井上 裕子	平成29年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 科学英語の基礎	兼担	教授	井上 裕子	平成29年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 科学英語の基礎	平成29年4月昇任による職名変更(29)
兼担	講師	亀井 敬	平成29年4月	自然科学概論※						
兼担	講師	武本 眞清	平成29年4月	自然科学概論※						
兼担	講師	藤本 和宏	平成29年4月	自然科学概論※ 数学						
兼担	講師	池田 啓一	平成32年10月	公衆衛生学						
兼担	講師	木藤 聡一	平成32年10月	関係法規						
兼担	講師	高野 克彦	平成31年4月	薬と生体反応						
兼担	助教	佐藤 友紀	平成31年10月	薬理学 臨床薬理学	兼担	講師	佐藤 友紀	平成31年10月	薬理学 臨床薬理学	平成29年4月昇任による職名変更(29)
兼担	助教	西川 周吾	平成29年4月	スポーツ	兼担	助教	西川 周吾	平成30年4月	スポーツ	本人の都合により就任予定年月を変更 他に1名担当者がおり支障はない(29)
兼担	助教	渡邊 千春	平成29年4月	スポーツ						
兼任	講師	宮前 諒平	平成29年4月	心理学						
兼任	講師	井上 好人	平成29年4月	社会学	兼任	講師	井上 好人	平成29年10月	社会学	平成29年10月開講予定のため、就任予定年月を変更(29)
兼任	講師	Eric Mornin	平成29年4月	英会話						
兼任	講師	水上 勇治	平成29年4月	医学概論 臨床医学総論						
兼任	講師	多崎 恵子	平成29年10月	看護学概論						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	小林 正和	平成30年4月	放射線検査学						
兼任	講師	宮地 利明	平成32年10月	画像解析学						
兼任	講師	小田 恵夫	平成30年4月	病理学 I						
兼任	講師	西村 泰行	平成31年10月	医療安全管理学(実習含む)						

- (注)
- 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」,「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - 認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**,当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し,大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」,変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお,設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は,「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由,変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
14 名	7 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
8	5	2	1	16	5	3	2	1	11	7	5	2	1	15
(4)	(4)	(2)	(1)	(11)						[Δ 1]	[]	[]	[]	[Δ 1]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ 1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	2 名	6 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	教授	尾崎 聡	必修	基礎ゼミナールⅠ	③	自己都合のため就任辞退（29）			
			必修	基礎ゼミナールⅡ	③				
			必修	病理学Ⅱ	③				
			必修	病理学実習	③				
			必修	臨床検査総論Ⅱ	③				
			必修	臨床検査総論実習Ⅱ	③				
			選択	分析技術学	③				
			必修	臨床工学演習	③				
			必修	卒業研究Ⅰ	③				
			必修	卒業研究Ⅱ	③				
			必修	臨地実習	③				
2	准教授	加藤 隆幸	選択	化学	②	自己都合のため就任辞退（29）			
			必修	医学英語	①				
			必修	基礎ゼミナールⅠ	①				
			必修	基礎ゼミナールⅡ	①				
			必修	人体の構造と機能Ⅱ	①				
			必修	生理学実習	①				
			選択	細胞生物学	①				
			必修	卒業研究Ⅰ	①				
			必修	卒業研究Ⅱ	①				
合計（A）			後任補充状況の集計（B）						
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
2	人	必修	17 科目	必修	7 科目	必修	0 科目	必修	10 科目
		選択	3 科目	選択	1 科目	選択	1 科目	選択	1 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	20 科目	計	8 科目	計	1 科目	計	11 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし	必修						
			選択						
			必修						
			自由						
			必修						
			必修						
合計（C）			後任補充状況の集計（D）						
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、

「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記（３）－① ・ （３）－② の合計

合計（Ａ）＋（Ｃ）				後任補充状況の集計（Ｂ）＋（Ｄ）								
辞任等した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）				
2 人	必修	17	科目	必修	7	科目	必修	0	科目	必修	10	科目
	選択	3	科目	選択	1	科目	選択	1	科目	選択	1	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	20	科目	計	8	科目	計	1	科目	計	11	科目

（注）・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

（４）専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

就任を辞退した２人の教員について大学の所見は、尾崎聡教授については担当する予定であった授業科目が平成30年度から開講する授業科目であるため、今年度において、学生の履修に影響はない。現在、後任の教員については教員審査の手続きを経て、採用の予定である。また、加藤隆幸准教授については、４科目を除き平成29年４月の開設までにＡＣ教員審査により４人の専任教員及び１人の兼任教員が科目を担当することになり、支障はない。４科目の「基礎ゼミナールⅠ」「基礎ゼミナールⅡ」「卒業研究Ⅰ」「卒業研究Ⅱ」については、複数の専任教員が担当するため、実施に特段の支障はない。なお、これに係る学生への周知は、学生の履修に影響・支障が生じないために行っていない。

（注）・ 上記（３）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画	
設 置 時 (29年4月)	1. 臨床検査学及び臨床工学の両方の学問的素養を身に付けることが、医療現場における「迅速かつ連続的な業務の遂行」に資するのであれば、双方の専門職の有機的な連携を意識できる教育内容を実習科目の中に位置付けるか、新たに科目を開講することにより、シームレスに業務を遂行するための実践力を涵養する内容を教育課程において担保すること。	留意事項	臨床検査学及び臨床工学の2つの学問的素養を身につけた人材は、医療現場において迅速かつ連続的な業務の遂行、医療安全対策の強化に貢献できると考え、双方の専門職の有機的な連携を意識できる教育内容について、「臨床検査総論実習」「臨床微生物学実習」「臨床免疫学実習」「臨床血液学実習」「臨床生化学実習」「生理機能計測学実習」「生体機能代行装置学実習」「医用治療機器学・安全管理学実習」の実習科目の中ですでに計画している。(29)	
	2. 完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について着実に実施すること。	留意事項	本学の就業規則に定める停年年齢(満65歳)を超えて採用した専任教員及び完成年度前に停年年齢を迎える専任教員については、任期満了後、公募により適切な教員任用を図る。教員任用にあたっては、職位・年齢等のバランス及び教育研究分野を考慮し、計画的に進めていく。あわせて、中堅・若手教員の育成を図っていく。(29)	

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時(認可時又は届出時)に付された留意事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の(年月)には、調査結果を公表した月(通常2月)を記入してください。(実地調査や面接調査を実施した日ではありません。)

7 その他全般的事項

<医療保健学部 医療技術学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
該当なし	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 北陸大学FD・SD委員会 <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第1回(平成29年4月25日開催) <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後の北陸大学FD・SD委員会で検討 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後の北陸大学FD・SD委員会で検討 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後の北陸大学FD・SD委員会で検討 <p>c 開催状況(教員の参加状況含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後の北陸大学FD・SD委員会で検討 <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後の北陸大学FD・SD委員会で検討 <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業開始より1か月であり授業評価アンケートは未実施である。毎学期末を予定している。 <p>b 教員や学生への公開状況, 方法等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 未実施のため公開情報はない。学生支援システムで公開を予定している。
--

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
- 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

現在、設置計画通り履行している。開設1年目の本年は、募集人員60人に対し64人（定員充足率1.06倍）が入学した。本学部が認知されていると考える。4月のフレッシュマンセミナーや授業「基礎ゼミナールⅠ」を通して、本学部の目標は学生に浸透しており、選択科目も多くの学生が積極的に選択している。次年度以降も、パンフレットやホームページ、進学ガイダンス等の手段・機会を積極的に活用し、本学部の教育内容を受験生に十分伝え、学修意欲の高い入学生を迎えることで、教育・研究活動がさらに充実するよう努めていく。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成30年4月30日 公表予定

b 公表方法

・大学ホームページ上に公表予定

③ 認証評価を受ける計画

・平成33年度に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(平成29年8月1日) 予定